

2 事業の目的と概要

(1) 事業概要	本件は、ベトナム社会主義共和国における均質で高度な医療サービス実現のため、同国の医療教育体制の拡充を支援する事業である。当機構は国立ハノイ医科大学と提携関係にあり、既に設置されているベトナム国家試験準備委員会を率いる同大学 タ タン ヴァン学長からの依頼に基づき、日本の医師・歯科医師国家試験基準や作問に関する情報と技術を提供するために同大学内に支援センターを開設する。これにより、ベトナムにおけるそれらの国家試験創設に貢献するとともに国家試験データベースと情報発信の拠点を提供する。日本語の医師・歯科医師国家試験基準は医学歯学と日本語に精通した翻訳者によりベトナム語に翻訳される必要がある。これを行った後、当機構が推薦する厚生労働省 国家試験委員の経験を有する専門家により、COVID19 流行中はオンライン研修を実施、その後現地における研修やベトナム人国家試験創設準備委員を招聘しての日本での研修を通じ、2023 年 3 月までに、同国における医師・歯科医師国家試験出題基準、問題例、および国家試験実施要項等の策定完了し、並行して同大学内に支援センターを開設することを目標とする。 The objective of this project is to improve medical education system for better and homogeneous services in Vietnam. This project is to contribute the establishment of national examinations for medical and dental practitioners and establishment of support center in Vietnam by transferring Japanese National Examination criteria by September 2022.
(2) 事業の必要性と背景	ベトナムは患者数あたりの医師数が日本の半数に留まっている。医療従事者の不足解消のため、地方の医学部、歯学部が多数設立されたが、大学間で教育格差が顕在化している。近年、医療先進国においても医療行為が複雑化し高品質の教育を行う体制を整備する必要がある。一方ベトナムでは、現在大学を卒業すれば医師・歯科医師免許が得られている。その点に対する問題意識はベトナム政府にも共有されており、全国共通の医師・歯科医師国家試験を創設して出題基準を定め、大学が教育すべき内容を明らかにし、全国の医療教育機関で質の高い医師、歯科医師を育成することが決められた。当機構事務局長 夏目長門は国立ハノイ医科大学にて学長顧問、客員教授を務めており、政府国家試験創設準備委員長である同大学学長タ タン ヴァン教授より直接依頼を受け、日本の国家試験基準についての情報の提供を行ってきた。ベトナム医師・歯科医師国家試験制度を創設するにあたり、同大学に国家試験支援センターを開設する。日本の国家試験出題基準を参考にしてもらえよう正確なベトナム語に翻訳するとともに、当該試験基準を熟知し高い知見をもつ、国家試験委員の資格をもつ専門家により、医師・歯科医師国家試験創設委員への研修を行う必要がある。またその評価運営について技術移転を行い、より質の高い制度となるよう支援する。

	●「持続可能な開発目標(SDGs)」との関連性 目標 3 あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する 目標 4 すべての人々への包括的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する 目標 10 各国内及び各国間の不平等を是正する 目標 17 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する																								
	<table><tr><td>ジェンダー平等</td><td>環境援助</td><td>参加型開発／ 良い統治</td><td>貿易開発</td><td>母子保健</td><td>防災</td></tr><tr><td>0:目標外</td><td>9:不明／未定</td><td>1:重要目標</td><td>0:目標外</td><td>2:主要目標</td><td>0:目標外</td></tr><tr><td>栄養</td><td>障害者</td><td>生物多様性</td><td>気候変動（緩和）</td><td>気候変動（適応）</td><td>砂漠化</td></tr><tr><td>9:不明／未定</td><td>1:重要目標</td><td>0:目標外</td><td>0:目標外</td><td>0:目標外</td><td>0:目標外</td></tr></table>	ジェンダー平等	環境援助	参加型開発／ 良い統治	貿易開発	母子保健	防災	0:目標外	9:不明／未定	1:重要目標	0:目標外	2:主要目標	0:目標外	栄養	障害者	生物多様性	気候変動（緩和）	気候変動（適応）	砂漠化	9:不明／未定	1:重要目標	0:目標外	0:目標外	0:目標外	0:目標外
ジェンダー平等	環境援助	参加型開発／ 良い統治	貿易開発	母子保健	防災																				
0:目標外	9:不明／未定	1:重要目標	0:目標外	2:主要目標	0:目標外																				
栄養	障害者	生物多様性	気候変動（緩和）	気候変動（適応）	砂漠化																				
9:不明／未定	1:重要目標	0:目標外	0:目標外	0:目標外	0:目標外																				
	●外務省の国別開発協力方針との関連性 本事業はベトナムへの開発協力方針である、地域間格差の是正、保険医療・社会保障分野の体制整備およびガバナンスの強化に直接資することを目的としている。																								
	●「T I C A D V IおよびT I C A D 7における我が国取組」との関連性 対象ではありません —																								
（３）上位目標	ベトナム医師・歯科医師国家試験を創設することで、ベトナム国内における医療体制の地域間格差をなくし、ベトナム国民が等しく高度な医療サービスを楽しむことができるようになることを目的とする。																								
（４）プロジェクト目標 （今期事業達成目標）	国立ハノイ医科大学学長を中心とする国家試験創設準備委員会が目指しているベトナムにおける全国統一の医師・歯科医師国家試験制度の創設に寄与する。今期事業としては、ハノイ医科大学内に新たに開設される支援センターを通じて、ハノイ医科大学とベトナム国内の医科系、歯科系大学が国家試験創設に関する共通理解を得ることを目指す。また国家試験創設準備委員会が制度創設の指針をベトナム政府に答申できるようにすることを目指す。達成指標としては、制度創設の指針のベトナム政府へ答申書の提出を事業期間中に達成することを目指す。																								

	国内、現地での研修における成果を測る指標としては以下とする。 国内研修 招聘する国家試験創設準備委員が、日本の国家試験の仕組みと、意義を理解し、ベトナムでの国家試験創設に反映できること 現地研修 日本の国家試験専門家によるワークショップを通じ、ベトナムの国家試験の作問方法、採点基準に関して指針を作成できること
(5) 活動内容	当機構より国立ハノイ医科大学と提携関係にある、タ タン ヴァン学長を中心とする国家試験準備委員会に対し、日本の医師・歯科医師国家試験基準をベトナム語に翻訳のうえ提供する。(翻訳対象は厚生省ホームページに掲載されている平成30年度医師国家試験基準、平成30年歯科医師国家試験基準、医師、歯科医師国家試験基準は厚生労働省ホームページに掲載されており、厚生労働省のホームページのコンテンツの利用については、複製、翻訳について出典を記載することで自由に利用できる) また作問や評価方法について技術移転を行う。プロジェクト開始後6か月を目途に当機構の推薦する、日本の国家試験委員の経験を有する2名の専門家によるオンライン研修を国内で実施する。オンライン研修対象者は、ハノイ医科大学国家試験導入検討委員および同大学医学部、歯学部教員、支援センター関係者50名、研修期間は2日間、実施場所は愛知学院大学(名古屋市)研修室とし、ベトナム語に翻訳した医師、歯科医師国家試験基準の説明、実施にあたっての留意点を説明する。オンライン研修を実施するにあたり、国立ハノイ医科大学内に必要な設備をオンライン研修の1か月前(プロジェクト開始後5か月)を目途に設置し、国家試験創設に係わるデータベースと情報発信拠点となる支援センターの機能を提供する。支援センターは本事業によりハノイ医科大学キャンパス内会議室を改装し支援センターとして必要な設備機器を供与する。改装予定の部屋は現在会議室、試験用の部屋に使用されており、今回の事業で提供される機器によりマルチメディア用のコミュニケーションセンターにアップグレードして、対面およびオンライントレーニングコースを開催できるように改装する。新たに開設される支援センターでは、録音システム、放送システム、サウンド管理を設置することで大規模な会議の開催ができるようにする。支援センターの職員としては、センター長 キム バオ ジアン氏をふくめて15名のスタッフを予定している。オンライン研修での実施内容を精査し、必要な改訂を行ったうえで、プロジェクト開始後8か月目を目標に、ベトナムから研修者6名を招聘し、国内での第1回研修を実施する。研修初日は愛知学院大学(名古屋市)研修室においてワークショップ形式の研修とし、専門家による講義により日本の国家試験制度を理解してもらい、研修2日目、研修3日目は、東京に移動し、厚生労働省、国家試験実施機関、国際医療センターにおいて国家試験についての情報提供を実施する。プロジェクト開始後9か月目、10か月目に研修担当教授(専門家)を現地(ハノイ医科大学)へ派遣し、ハノイ医科大学支援センターにて2日間のワークショップを行い試験問題の作問ならびに採点基準について技術移転を実施する。研修対象者は、ハノイ医科大学国家試験導入検討委員および同大学医

	学部、歯学部教員、支援センター関係者 50 名を予定している。プロジェクト開始 11 か月を目途に、ハノイ医科大学より現地で研修に参加した担当者 6 名を招聘し、愛知学院大学（名古屋市）研修室において、3 日間の日程で、最終的に国立ハノイ医科大学医師・歯科医師国家試験創設委員会に対して国家試験出題基準ならびに作問についてのシステム構築、情報提供と支援の完了を目指す。作問については日本の国家試験作成方針を説明するとともに、作問における誤りに陥ることの多い事例について具体例を挙げて指導を行う。また、そのフォローアップを行う。第 1 回目の国内研修は COVID19 感染対策のためオンライン研修とし、以降は、現地に専門家を派遣して研修を実施するとともに、日本にベトナム人国家試験創設準備委員を招聘し、日本からの技術移転を行う。プロジェクト開始 11 か月を目途にベトナムにおいて医師・歯科医師国家試験出題基準の策定および国家試験実施に向けた要項の策定が完了し、ハノイ医科大学内に設置される支援センターを通じて、国家試験創設に関わるデータベースと情報がベトナムの各都市と共有できることを目標とする。 裨益人口（直接裨益人口 医学部・歯学部学生 5,800 人/年間 間接裨益人口 ベトナム全人口 97,600,000 人）
（６）期待される成果と成果を測る指標	当事業によりベトナム側が国家試験基準ガイドラインについて理解することで、ベトナムにおける高品質な医師・歯科医師国家試験創設が可能となり、実際の国家試験の実施につながる。国家試験創設に関わる情報発信拠点としてハノイ医科大学内に支援センターを開設することで、高度な医療情報について、ベトナムの各都市との情報交換を可能とする。本事業の成果指標としては、制度創設の指針のベトナム政府へ答申書の提出を事業期間中に達成することを目標とし、国家試験導入後は、国家試験の合格率、受験者の正誤分析等を行い、評価委員会で日本の国家試験における正答率等と比較して評価を行う。支援センターについては、開設後、累計の情報交換の会議主催件数、問い合わせに関する対応内容等により評価を行う。
（７）持続発展性	ベトナムに於いて医師・歯科医師国家試験が導入されることにより、持続的に同国医学部、歯学部卒業生に対して医師、歯科医師として必要かつ十分な知識を習得させ国民への医療の質を向上させることを目的とする。並行してハノイ国立医科大学内に支援センターを開設することで、ベトナム国内における医療者の質的向上によりベトナムの保健医療体制の質的向上と、医療事故の減少が期待できる。